

のぎた たかはる  
野北 孝治 たより

No.24

刈谷市宝町8丁目1番地  
TEL: 0566 (24) 5848

ごあいさつ

いつもお世話になっております。大府市議会議員の野北孝治です。  
令和6年12月議会が11月29日～12月17日の19日間で開催されました。  
議案の内容が市民の安心・安全に貢献できるものか、満足度・サービスの向上に  
繋がったものになっているか、また効率的で効果的な内容となっていたかを  
民間企業出身の議員として確認いたしました。

12月議会での主な内容等をご報告させていただきます。



大府市議会議員 野北 孝治

12月議案内容 (抜粋)

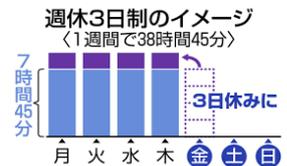
議案審議

条例6件、補正予算6件、その他3件、人事案件1件、請願2件 計18件を審議

・大府市職員の勤務時間、休暇等に関する条例等の一部改正について

職員の働き方改革の一環として、週休3日制を導入するため、条例を改正（庁舎の開庁時間は変更なし）  
(内容)

- ・1週間の勤務時間数を維持した上で、 週休日のほかに勤務時間を割り振らない  
日を設けることができることとする。  
(1日分の勤務時間を他の4日間に振り分ける)



・大府市都市公園条例の一部改正について

占用許可の対象を追加（駐輪場の工事期間中に公園の一部を臨時的駐輪場とする）するため、  
条例を改正するもの。

(内容)

規則で定める都市公園において占用を許可できる施設として、市が設置する仮設の自転車等



・一般会計補正予算について

・学校給食について

【食材費物価高騰対策】 (25,749千円)

学校給食の食材費の公費負担額を増額し、保護者の負担軽減を図るとともに、児童生徒の  
給食の質と量を確保。（保護者の支払う給食費は現状のまま）

・民間保育所給食について

【食材費物価高騰対策】 (8,053千円)

民間保育所給食の食材費の公費負担額を増額し、保護者の負担軽減を図るとともに、園児の  
給食の質と量を確保。（保護者の支払う給食費は現状のまま）

・運転免許返納者タクシー料金助成金（75歳以上対象）（519千円）

75歳以上の高齢運転免許証の返納を効果的に後押しするため、運転免許証自主返納支援事業  
の一つとして、新たに対象者に対してタクシー料金助成券を交付。  
本事業は国土交通省が実施する『高齢者の免許返納の促進に向けた地方公共団体による対策の  
効果実証調査』の支援金を活用して実施。

交付開始/令和7年1月6日(月)以降

対象/①～③のすべてに該当する方 ① 市内に住民登録がある75歳以上の方

② 令和6年4月1日以降に運転免許証を自主返納した方 ③ 福祉タクシー等料金助成  
を受けていない方

内容/普通タクシー利用助成券を36枚発行。初乗料金分(上限:630円/回)を助成

※大府市が指定するタクシー事業者でのみ使用できます。

申込/自主返納の手続をした運転免許証を添えて、危機管理課窓口へ。



## 12月議案内容（抜粋）

### ・一般会計補正予算について

#### ・令和7年度以降の小中学校野外教育活動等のバスの手配

近年、バス事業者やバスの保有台数、ドライバーの不足等により、バスの契約が非常に困難な状況。令和7年度以降の小中学校野外教育活動等のバスの手配について、確実に確保できるようにするため、前倒し（債務負担行為の設定）により対応。

令和7年度の実施予定 小学校水泳授業（5月下旬から12月上旬に実施予定）  
小学校野外活動（7月下旬から8月上旬に実施予定）  
中学校野外活動（7月上旬から中旬に実施予定）



#### ・中心市街地整備事業について

【内容】大府駅東側駐輪場の拡張・・・50台程度（8,475千円）

大府駅東自転車駐車場は、駅舎に近いことから、自転車の駐車が集中し、出し入れが容易ではなく、駐輪場の増設が求められている。例年、年度初めは特に利用者が増加する傾向にあることから、本年度中に自転車駐車場の整備を行うもの。

施工期間：R7年1月～令和7年3月まで

## 一般質問内容（抜粋）

### 安心安全に暮らせるまち大府市について



#### 問：災害の備えについて

答：公設の福祉避難所とする愛三文化会館において、宿泊室を全て個室に改修し、シャワーブースの設置を行っており、さらに、避難者が個室使用できるテント型シェルターやポータブル蓄電池などの災害対策資器材の配備も進めている。今後も、国が強化する防災・減災対策の動向を注視し、市民の生命と生活を守るため、災害に強いまちづくりに取り組んでいく。

#### 問：国の補助金を活用した備蓄品の拡充を考えているか

答：デジタル田園都市国家構想推進交付金を活用し、災害対策各支部へポータブル蓄電池を配備したほか、南海トラフ地震等対策事業費補助金を活用し、指定避難所となる市内各公民館及び石ヶ瀬会館に非常時オストメイト専用トイレを配備しており、国や県の補助金を活用して災害備蓄品の拡充を進めている。

#### 問：救急隊員が気がねなく水分補給や食事の時間を確保できるよう緊急車両に休憩中であることを表示する考えはないか

答：次の出動要請に備えながら必要に応じて飲食することを容認している。

短時間の休憩とはいえ、市民の方からすれば何をしているのかわかりづらい状況もありますので、連続出動のため水分補給等をしていることがわかるよう、必要に応じてダッシュボード上にその旨を掲示する。



#### 問：搬送の判断を誤ることのないよう、救急隊員による確認手順が遵守される対策がとられているか

答：総務省消防庁からの通知に基づく判断基準に従い傷病者の観察を行い、加えて心電図による心静止状態を確認することで適正な判断をしている。

更に明らかな死亡と判断する際のチェックリストを作成し、先入観を持つことなく客観的な観察の実施、複数人での最終判断をすることにより確認手順を遵守する対策を講じた。

その他、各種事業や12月議会での議案等の審議結果につきましては、大府市公式ウェブサイトに掲載していますのでご参照ください。

今後も住みやすいいいまち『おおぶ』の実現に向け、市民の目線で現地現物を大切に活動してまいりますので引き続き、ご支援・ご協力をお願いします。

野北 孝治 相談室(長草工場内)  
(直通) 0562-48-9304  
(メール) nogita@tiwu.or.jp